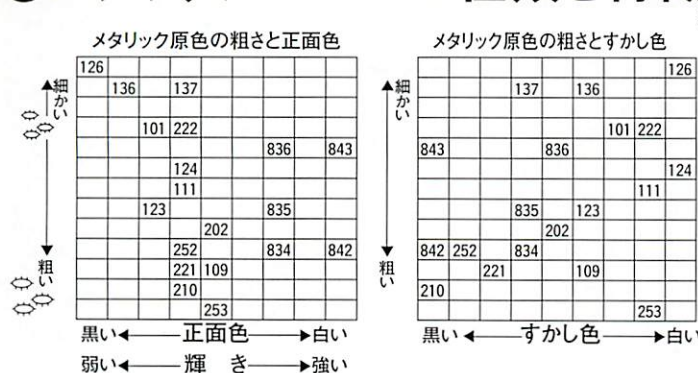


●パール原色の種類と特徴

系 統	ホワイトパール		干 渉 パ ー ル										干 渉 十 着 色		着 色 パ ー ル						
	ホワイト		ブルー		グリーン		ゴールド	レッド	バイオレット	ブルーグリーン	ゴールド	グリーン	レッド	牙えたレッド	ブラウン	ゴールド	ダークブルー	ダークグリーン	シルバーブルー		
スカシ	黄黒	赤	淡赤	黄	黄緑	黄緑	淡赤	グレー	淡緑	淡緑	黄緑	淡緑	赤茶	同 上							
細かい ↑ ↓ 粗い		242																			
		271	275			244				261											
		243					246						278		213		218	265			
		219								214							264				
		215				216				274											
		276								273											
			241	280	262								269		266	248	281	212	270	279	268
		217	247						272	260		263									285
			277						245			283					282				

注) ● □ は、パールベース。● スカシは45°斜め方向から見た色味。

●メタリックベースの種類と特徴(正面)



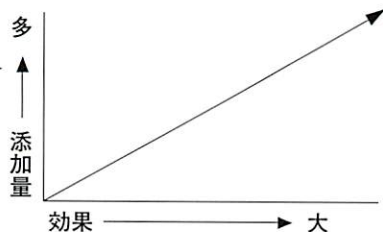
(参考)メタリックの塗装条件と色合い

塗 装 条 件	色 合 い	
	淡くなる	濃くなる
シンナー速さ	速い	遅い
塗 装 粘 度	低い	高い
吹 付 け 圧 力	高い	低い
塗 り 込 み	薄塗り	厚塗り
気 温	高い	低い

●調色時の微修正方法

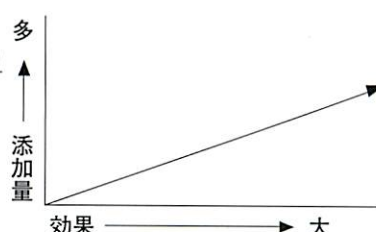
アルミコントロール剤 (389-002)

- 正面の白さを変えず、すかしを黒くする。
- 色の深みを出す。
- アルミ粒子を粗くする。



スカシコントロール剤 (389-003)

- すかしの白さを出す。
- アルミ粒子を粗くする。
- 正面を黒くする。



●シンナーおよび硬化剤

製品コード	製品名	容量	危険物	有機溶剤
294-820	レタンPG2Kシンナー 超々遅乾形	4L	4類第2石油類	第2種有機溶剤等
294-821	レタンPG2Kシンナー 超遅乾形			
294-813	レタンPG2Kシンナー 遅乾形	16L	4類第1石油類	
294-814	レタンPG2Kシンナー 標準形			
294-815	レタンPG2Kシンナー 速乾形			
294-822	レタンPG2Kシンナー 超速乾形	1L	4類第1石油類	
389-005	レタンPG2K硬化剤 速乾形			
389-006	レタンPG2K硬化剤 標準形	4L	4類第2石油類	
389-009	レタンPG2Kクリアー用硬化剤 遅乾形	4L		
389-901	プラスチック用マルチ硬化剤	1L・4L	4類第1石油類	
389-902	スポイラー用マルチ硬化剤			
388-022	レタンPGボカシレベリング剤 標準形	4L	4類第1石油類	
388-023	レタンPGボカシレベリング剤 遅乾形			
388-024	レタンPGボカシレベリング剤 超遅乾形			

●下地処理標準仕様例

No.	工 程	要 領	注 意 点
1	塗膜ハガシ	ディスクサンダー P40~80	
2	鋳金パテ付け	SU鋳金パテベースまたはLUC中間パテベース : 100 LUCパテ共通硬化剤 : 1~3	旧塗膜へは付けないこと。
3	乾 燥	20℃/30分以上	(ベース:標準形)
4	鋳金パテ研磨	荒 研 ぎ:オービタルサンダー P80~120 歪み抜き:ファイル P120	
5	フェザーエッジ出し	ダブルアクションサンダー P120	各塗膜層を約5mm以上出す。
6	ポリパテ付け	LUCポリパテベース:100 LUCパテ共通硬化剤:1~3	旧塗膜へオーバーラップする事。 ただし、ラッカー塗膜は不可。
7	乾 燥	20℃/20分以上	(ベース:標準形)
8	ポリパテ研ぎ	荒 研 ぎ:オービタルサンダー P120~180 歪み抜き:ファイル P180	
9	パテしごき付け	LUCファイナルパテベース:100 LUCパテ共通硬化剤 : 1~3	巣穴と小傷埋め。
10	乾 燥	20℃/30分以上	(ベース:標準形)
11	面仕上げ	パテ周辺のエッジ出し、歪み抜き:ファイル P180 パテ面の仕上げ:ダブルアクションサンダー P240	
12	足付け	ダブルアクションサンダー P240	旧塗膜の足付け
13	プラサフ塗装	JUSTウレタンプラサフ ベ ー ス:100 硬 化 剤:10 レタンPG2Kシンナー:20~40	(シンナー:速乾形または標準形)
14	乾 燥	20℃/1.5時間以上または60℃/20分以上	
15	プラサフ研ぎ	水研ぎP600耐水ペーパー (濃彩色はP800耐水ペーパー)	

レタンPG2Kの塗装 (P4~P8)

●下地

従来より、PG80、PG60に使用している下地
類は使用可能です。

[適用できる下地塗料類]

分 類 名	製 品 名 () コードNo.
ウレタン系プラサフ	SUウレタンプラサフ(ベース:327-720、硬化剤:327-731) JUSTウレタンプラサフ(ベース:327-740、硬化剤:327-741) SUウレタンプラサフA(ベース:327-730、硬化剤:327-731) JUST H-S Filler(ベース:327-750、硬化剤:327-751)
ラッカー系プラサフ	SUアクリルプラサフ(183-120) KARプラサフグレー(183-101) KARプラサフグリーン(183-102) JUSTアクリルプラサフ(183-130)
ラッカーパテ	KARグレージングパテ(917-201)
鋳金パテ	SU鋳金パテ(ベース:917-330、331、332、硬化剤:917-300) LUC鋳金パテ(ベース:917-371、372、373、硬化剤:917-300) LUC中間パテ(ベース:917-381、382、383、硬化剤:917-300)
ポリパテ	SUパテ(ベース:917-323、324、325、硬化剤:917-300) LUCファイナルパテ(ベース:917-301、302、303、硬化剤:917-300) LUCポリパテ(ベース:917-391、392、393、硬化剤:917-300)
ウォッシュコンパウンド	SUウォッシュコンパウンド(917-400)



製品取扱上の注意事項

(安全衛生他)

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含んでいる。

本品は、人体に有害なイソシアネート系の硬化剤を使用しています。この中には不純物として毒性の強い低分子イソシアネートが微量含まれています。従って、塗装にあたっては下記事項について厳重に注意してください。

- (1) スプレーミストの吸入による中毒
軽症の場合…不快感・頭痛・セキ。
中症の場合…喉頭炎と同様の症状。
重症の場合…ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作を起こす。
- (2) 皮膚に触れることによる炎症。
塗料やスプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こすことがあります。
- (3) 一度中毒すると再発しやすい。
一度中毒したり炎症を起こしたりすると敏感になり再発しやすくなる傾向がありますから注意してください。
気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や、既往症のある人、皮膚カブレを起こしやすい人、アレルギー体質の人には、作業には従事させないでください。
また、本品には、第2種有機溶剤を使用しています。一般に第2種有機溶剤を使用した塗料に共通な危険性と有害物があり、作業環境と取扱い方法が義務づけられています。
安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

一般的注意事項

- 引火性の液体で火気厳禁です。また、吸入したり皮ふに触れたりすると中毒やかぶれ、その他の健康障害を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

取扱い方法

- 火気の有るところでは使用しないでください。
- 取扱作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮ふにふれないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護めがね、保護手袋、更に頭巾、長袖の作業衣、えり巻きタオル等を着用してください。
- こぼれたときには、砂等を散布した後、布類（ウエス）で拭き取ってください。塗料の付いた布類や塗料かす、スプレーダスト等は、必ず水に浸して処理してください。
- 取扱い後は、洗顔、手洗い、うがいおよび鼻孔洗浄を十分に行なってください。

救急処置

- 皮ふに付着したときには、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じたときには、医師の診察を受けてください。
- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸って不快なときには、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

火災時の処置

- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

貯蔵保管方法

- 完全にふたをし、一定の場所を定めて、子供の手の届かないところに保管してください。

〈硬化剤〉

- 硬化剤は空気中の湿気、水分と反応します。湿気、水分と反応した硬化剤は、正確に計量してベースと混合しても反応性が低いため、フレ、付着不良、プリスター等塗膜欠陥の原因となります。使用時以外は必ずフタをして、湿気、水分との接触を避けてください。

〈ベース〉

- ベースは使用時以外は必ずフタをして溶剤の揮散を避けてください。溶剤の揮散は、溶剤の蒸発速度、溶解力のバランスがくずれ、本品の特長が失われることがあります。また、長時間フタを閉めずに放置すると皮張りが生じ、フツの原因になることもあります。原色および、調色品を保管する時は必ずフタをしてください。

廃棄方法

- 捨てるときは、産業廃棄物として処理してください。

誤使用防止

- 本来の目的以外（シンナー遊び等）に使用しないでください。

設備上の注意事項

本品は、第2種有機溶剤を使用していますから「有機溶剤中毒予防規則」や「消防法」などによって、作業場の環境などを下記のようにととのえることが義務づけられています。

- ① 塗装ブースの制御風速は有機溶剤中毒予防規則に従ってください。
- ② ブースの排気孔から外部にスプレーミストがもれないようにするために、水洗もしくはろ布などによるミストの除去装置がつけられていることが必要です。
- 本品などのポリウレタン樹脂塗料では、塗装場周辺へのイソシアネートの飛散を防止するために上記のことが重要です。イソシアネートは水分にあうとただちに反応して毒性が消えますから、人家の密集地ではできるだけ水洗ブースを使うようにしてください。ドライブースの場合は、排気をさらにウォーターシャワーに通せば安全です。
- ③ 塗装作業中は作業場内の換気を十分に行い、大気中の有機溶剤濃度が許容濃度以下になるようにしてください。
- ④ 強制乾燥を行う場合は、溶剤の上記濃度が爆発限界（溶剤にもよるが容量比で1.1～7%）以下に保たれるように管理してください。
- ジェットヒーターなどの直火加熱方式は、引火の危険が非常に大きいので、使わないでください。
- その他、照明器具、モーター、スイッチなど、スパークの飛ぶおそれのある器具は、必ず防爆形を使ってください。

詳細な内容は、化学物質等安全データシート (MSDS) をご参照ください。

関連法規

- 労働安全衛生法（特定化学物質等障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則）
- 毒物及び劇物取締法。
- 消防法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律。



関西ペイント株式会社

関西ペイント販売株式会社

本社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12番1号
TEL (03) 5711-8903 FAX (03) 5711-8933

- 東北営業部 〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40 (KSCビル)
TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
- 東京営業部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12番1号
TEL (03) 5711-8901 FAX (03) 5711-8931
- 千葉営業所 〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6-27-18 (YSビル4F)
TEL (043) 297-3611 FAX (043) 297-3710
- 多摩営業所 〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町二本木551-2
TEL (042) 557-7811 FAX (042) 557-7810
- 長野営業所 〒388-8008 長野市合戦場2丁目88
TEL (0262) 93-5454 FAX (0262) 93-5457
- 新潟営業所 〒950-0088 新潟市万代5丁目7-2 (タイアハレスシアース万代)
TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442
- 静岡営業所 〒417-0002 富士市依田橋字下三条218-1
TEL (0545) 32-1242 FAX (0545) 32-0537
- 浜松営業所 〒430-0926 浜松市砂山町328-11 (ハママツ・エキナ・スルガビル)
TEL (053) 458-6226 FAX (053) 458-6388
- 北関東営業所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目1-7 (ビックビー・東宿郷5F)
TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
- 前橋営業所 〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1 (YK第1ビル)
TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0398
- 中部営業部 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-29-25
TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
- 三重営業所 〒510-0101 三重県三重郡桶町大字小倉1804-5
TEL (0593) 97-3313 FAX (0593) 97-4887
- 大阪営業部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町13番45号
TEL (06) 6337-0761 FAX (06) 6330-2751
- 広島営業所 〒732-0052 広島市東区光町1丁目12番16号
TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
- 岡山営業所 〒700-0976 岡山市辰巳42番109号
TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460
- 神戸営業所 〒650-0023 神戸市中央区栄町通6丁目1番21号神明ビル3F
TEL (078) 360-1441 FAX (078) 360-1407
- 金沢営業所 〒924-0013 石川県松任市番匠町50番地1
TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900

株式会社カンペ共販北海道

本社 〒061-3244 北海道石狩市新港南2-718-4
TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

株式会社カンペ共販四国

本社 〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2-88
TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

高知営業所 〒780-8010 高知市棧橋通1-8-1
TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528

松山営業所 〒790-0041 松山市保免上2-10-24
TEL (089) 934-9088 FAX (089) 934-9166

株式会社カンペ共販九州

本社 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-5-8
TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

北九州営業所 〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10
TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371

熊本営業所 〒861-4101 熊本市近見8-14-66
TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014

鹿児島営業所 〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目69-5
TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962

沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3-9-1 勢理客産業ビル4階
TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652

●関西ペイントホームページアドレス <http://www.kansai.co.jp/>

ご用命は

※製品改良などのため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。